



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名  
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052)222-8202  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,152	819.1	427	-	415	-	353	-
30年3月期第3四半期	451	4.0	△19	-	△38	-	21	6.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	71.03	-
30年3月期第3四半期	4.41	-

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度(第128期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,546	4,838	4,838	4,838	64.1
30年3月期	7,450	4,488	4,488	4,488	60.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 4,838百万円 30年3月期 4,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	-	-	0.00	0.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	876.1	450	-	430	-	370	-	74.30

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,984,500株	30年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	5,074株	30年3月期	4,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,979,495株	30年3月期3Q	4,961,691株

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度（第128期）の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は平成30年6月27日開催の第128回定時株主総会において、株式併合について承認され、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成31年3月期の業績予想は以下のとおりとなります。

平成31年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益      通期 7円43銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成30年4月に予定どおり新劇場が開場し、4月1日より、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」が行われました。また、5月には「スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース」、6月には「滝沢歌舞伎2018」、「鳥羽一郎 山川豊 with 石原詢子 ふるさとコンサート」、7月には「舟木一夫特別公演」、8月には「ミュージカル モーツァルト!」、「舞台 レインマン」、「ブロードウェイミュージカル ピーターパン」、「志村けん一座 第13回公演 志村魂」、9月には「三山ひろし特別公演」、「三山ひろしリサイタル」、「福田こうへいコンサート」、10月には「第49回吉例顔見世」、11月には「コロッケ特別公演」、「よしもと爆笑公演」、12月には「ミュージカル マリー・アントワネット」、「加藤登紀子ほろ酔いコンサート」が行われ、前年同期には当社主催公演は「錦秋名古屋顔見世」の50回でしたが、当第3四半期累計期間の公演回数は323回となりました。当第3四半期累計期間の業績は、売上高41億5千2百万円（前年同期比819.1%増）となりました。利益面では、営業利益4億2千7百万円（前年同期は営業損失1千9百万円）、経常利益4億1千5百万円（前年同期は経常損失3千8百万円）、四半期純利益3億5千3百万円（前年同期は2千1百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、13億3千9百万円となり、前事業年度末に比べ2億7千9百万円の増加となりました。この主な要因は、その他に含まれる未収消費税等が3億3千4百万円減少したものの、現金及び預金が4億3千2百万円、売掛金が1億8千2百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、62億7百万円となり、前事業年度末に比べ1億8千3百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が9千1百万円、機械及び装置が6千2百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、75億4千6百万円となり、前事業年度末に比べ9千5百万円の増加となりました。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、7億3千万円となり、前事業年度末に比べ8千万円の減少となりました。この主な要因は、買掛金が1億6千8百万円、未払法人税が7千9百万円増加したものの、前受金が1億9千8百万円、未払金が1億2千7百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、19億7千7百万円となり、前事業年度末に比べ1億7千3百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が1億5千万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、27億8百万円となり、前事業年度末に比べ2億5千3百万円の減少となりました。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、48億3千8百万円となり、前事業年度末に比べ3億4千9百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億5千3百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は本日業績予想を修正しております。詳細は本日公表致しました「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	630,338	1,062,633
売掛金	61,337	243,881
貯蔵品	1,928	1,727
その他	366,768	31,814
貸倒引当金	△997	△997
流動資産合計	1,059,375	1,339,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,972,478	2,880,498
機械及び装置(純額)	973,661	911,471
土地	2,124,656	2,124,656
その他	207,967	193,205
有形固定資産合計	6,278,764	6,109,831
無形固定資産		
投資その他の資産	60,157	52,915
投資有価証券	42,330	38,204
その他	10,179	6,790
投資その他の資産合計	52,509	44,994
固定資産合計	6,391,431	6,207,741
資産合計	7,450,806	7,546,802
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	-	168,978
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	242,908	115,074
未払法人税等	9,696	88,876
前受金	275,519	76,775
預り金	69,366	4,122
賞与引当金	-	3,107
その他	13,622	73,445
流動負債合計	811,112	730,381
固定負債		
長期借入金	1,800,000	1,650,000
繰延税金負債	277,082	262,335
退職給付引当金	23,560	19,461
その他	50,127	45,918
固定負債合計	2,150,770	1,977,714
負債合計	2,961,882	2,708,095

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	107,834	461,528
自己株式	△38,895	△39,476
株主資本合計	4,478,498	4,831,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,425	7,094
評価・換算差額等合計	10,425	7,094
純資産合計	4,488,923	4,838,706
負債純資産合計	7,450,806	7,546,802

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	451,805	4,152,722
売上原価	354,673	3,519,494
売上総利益	97,132	633,227
販売費及び一般管理費	116,277	205,678
営業利益又は営業損失(△)	△19,145	427,548
営業外収益		
受取利息	169	0
受取配当金	1,300	1,323
保険返戻金	-	1,343
受取手数料	1,100	-
受取保険金	-	2,961
その他	1,160	424
営業外収益合計	3,730	6,053
営業外費用		
支払利息	367	17,045
株式交付費	2,379	-
支払手数料	20,020	-
その他	67	707
営業外費用合計	22,834	17,752
経常利益又は経常損失(△)	△38,249	415,849
特別利益		
固定資産受贈益	64,504	-
特別利益合計	64,504	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	636
特別損失合計	-	636
税引前四半期純利益	26,255	415,213
法人税、住民税及び事業税	4,382	76,107
法人税等調整額	-	△14,589
法人税等合計	4,382	61,518
四半期純利益	21,873	353,694

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。